

平成22年度

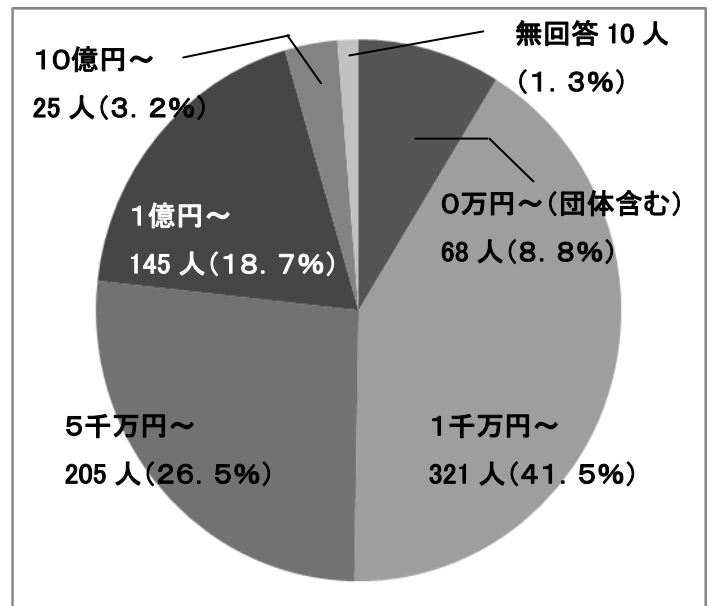
中堅・中小企業の新入社員意識調査 結果概要

- 【調査対象】 東京商工会議所が開催した新入社員研修を受講した中堅・中小企業の新入社員781名
- 【調査期間】 平成22年3月31日～4月13日
- 【有効回答】 計774名（男性501名、女性273名）
- 【回答率】 99.1%

学歴別受講者分布

受講者の学歴分布			
学歴	男性	女性	計
大学院卒	52人 (10.4%)	18人 (6.6%)	70人 (9.0%)
大学(理系)卒	129人 (25.7%)	35人 (12.8%)	164人 (21.2%)
大学(文系)卒	158人 (31.5%)	151人 (55.3%)	309人 (39.9%)
短大卒	4人 (0.8%)	21人 (7.7%)	25人 (3.2%)
専門学校卒	57人 (11.4%)	23人 (8.4%)	80人 (10.3%)
高専卒	11人 (2.2%)	0人 (0.0%)	11人 (1.4%)
高卒	84人 (16.8%)	24人 (8.8%)	108人 (14.0%)
その他	5人 (1.0%)	1人 (0.4%)	6人 (0.8%)
無回答	1人 (0.2%)	0人 (0.0%)	1人 (0.1%)
合計	501人 (100.0%)	273人 (100.0%)	774人 (100.0%)

企業規模（資本金）別受講者分布



資本金額	受講者数	比率
0円～(団体含む)	68	(8.8%)
1千万円～	321	(41.5%)
5千万円～	205	(26.5%)
1億円～	145	(18.7%)
10億円以上	25	(3.2%)
無回答	10	(1.3%)
合計	774	(100.0%)

就職歴別受講者分布

	新卒	中途 (就職経験3年未満)	中途 (就職経験3年以上)	その他	不明・無回答
今年度	732人 (94.6%)	23人 (3.0%)	6人 (0.8%)	8人 (1.0%)	5人 (0.6%)
男性	471人 (94.0%)	14人 (2.8%)	4人 (0.8%)	7人 (1.4%)	5人 (1.0%)
女性	261人 (95.6%)	9人 (3.3%)	2人 (0.7%)	1人 (0.4%)	0人 (0.0%)
大学院卒	70人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
大学(理系)卒	161人 (98.2%)	1人 (0.6%)	1人 (0.6%)	1人 (0.6%)	0人 (0.0%)
大学(文系)卒	292人 (94.5%)	11人 (3.6%)	2人 (0.6%)	4人 (1.3%)	0人 (0.0%)
短大卒	22人 (88.0%)	1人 (4.0%)	1人 (4.0%)	1人 (4.0%)	0人 (0.0%)
専門学校卒	78人 (97.5%)	1人 (1.3%)	1人 (1.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
高専卒	9人 (81.8%)	2人 (18.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
高卒	95人 (88.0%)	7人 (6.5%)	1人 (0.9%)	2人 (1.9%)	3人 (2.8%)
その他	5人 (83.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (16.7%)
無回答	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (100.0%)

企業業種別受講者分布

業種	受講者数	比率
小売	22	(2.8%)
卸売	104	(13.4%)
工業	175	(22.6%)
資源エネルギー	8	(1.0%)
貿易	21	(2.7%)
金融	3	(0.4%)
交通運輸	37	(4.8%)
建設不動産	123	(15.9%)
サービス・情報産業	257	(33.2%)
その他	16	(2.1%)
無回答	8	(1.0%)
合計	774	(100.0%)

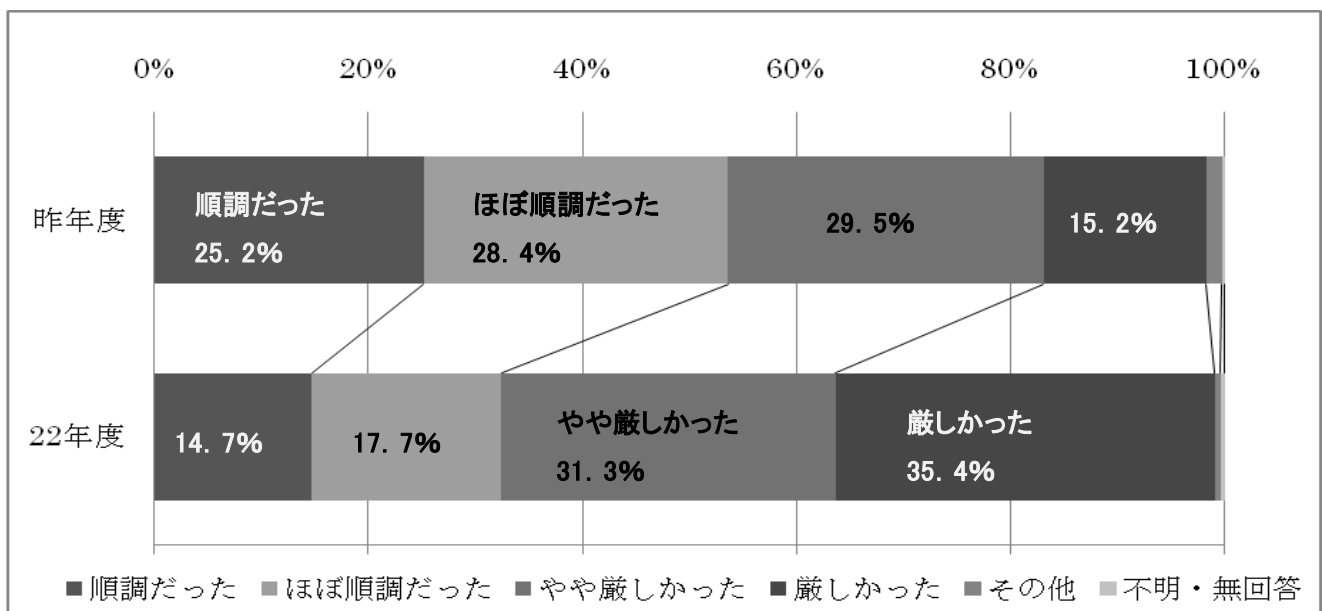
## 1. 就職活動は順調だったか

⇒1年の違いが鮮明。「厳しかった」が昨年度2倍以上

○「厳しかった」(35.4%)が昨年度(15.2%)に比べて倍増した反面、「順調・ほぼ順調だった」は21.2ポイント(53.6%→32.4%)減少した。

特に女性は「厳しかった」との回答が24.1ポイント増(14.4%→38.5%)と男性(15.6%→33.7%)に比べて5ポイント多かった。学歴別に見ると、大卒以上ですべて「厳しかった・やや厳しかった」との回答が7割を超えた。

一方、特に厳しいと言われた高卒では「厳しかった・やや厳しかった」(26.0%→38.0%)は増加したものの、「順調だった・ほぼ順調だった」(72.0%→61.1%)が上回った。



## 2. 就職活動で苦労したことは何ですか(3つ選んで下さい)

⇒就職活動の激戦化と長期化に苦心。自己分析に苦労した層は学歴別で相違。

○「採用枠が少なく競争が激しかった」(59.4%)、「内定が遅く活動期間が長かった」(43.4%)、「説明会や面接の日程・時間の調整」(40.6%)と就職活動の厳しい状況を反映する結果となった。

「自分のやりたいことがわからず悩んだ」(49.9%)は、高専卒(72.7%)、高卒(70.4%)が高く、大学院卒(37.1%)、専門学校卒(38.8%)と学歴の違いをそのまま反映する結果となった。

また、「会社の求人情報が入手しにくかった」(15.6%)との回答について資本金別に見ると、0円以上(団体含む)(26.5%)、1千万円以上(16.5%)、5

千万円以上（15.6%）と1億円未満の企業が高く、求人情報のPR支援の必要性が現れた結果となった。

### 3. 入社した会社を選んだ理由は（3つ選んで下さい）

⇒「仕事の内容のおもしろさ」「職場の雰囲気良さ」に期待が高い

○「仕事の内容がおもしろそう」（49.3%→50.4%）、「職場の雰囲気が良かった」（50.6%→46.5%）、「自分の能力・個性を活かせる」（42.9%→43.7%）を入社理由に挙げ、自分にあった職場環境で能力を発揮したいと考える仕事志向の人が多い。「安定性がある」（30.4%→30.5%）、「待遇（給与・福利厚生等）がよい」（15.8%→14.6%）も大きな変動はなく、この傾向が近年、定着してきている。

### 4. 入社した会社をどのようにして知りましたか

⇒重要度を増す、学校就職部

○「学校就職部」（31.8%→36.4%）が4.6ポイント増加し、最も多い回答だった。2番目、3番目に「求人情報サイト」（30.1%→27.1%）、「知人の紹介」（10.3%→11.0%）が続き、若干の数字の変動はあるものの、昨年と同じ順になった。

### 5. 就職活動の期間と内定数

⇒過半数の入社決定は前年9月まで。7割近くが「内定1社」

○過半数が就職活動を開始するのが2009年2月頃（55.4%）。3割以上が2008年12月以前（36.1%）、2割弱は同年10月以前（18.3%）に着手している。一方、入社決定時期は2009年9月頃に5割を超えるが、2010年1月以降（15.3%）との回答もあり、厳しい状況が浮き彫りとなった。

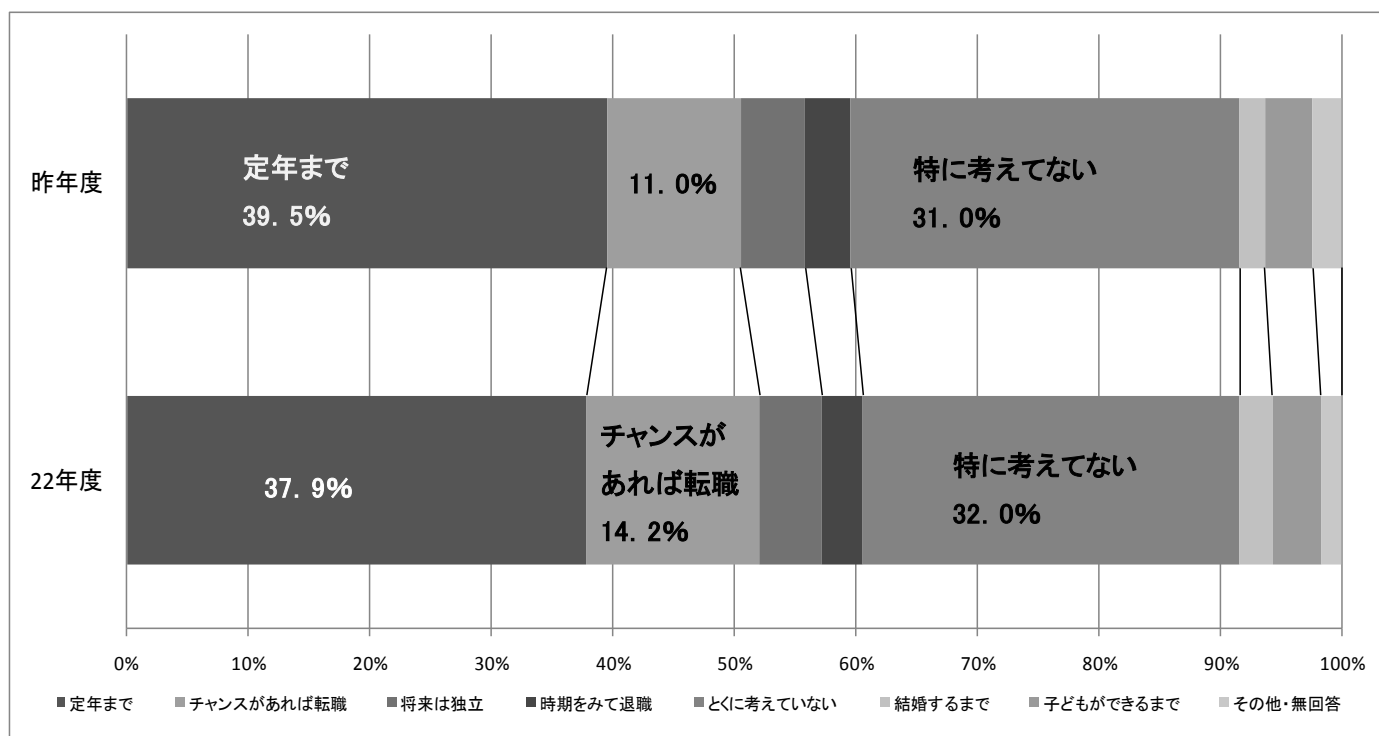
また内定数は7割弱（67.7%）が「1社」と回答。買い手市場がうかがえる。

### 6. 今の会社でいつまで働きたいか

⇒安定志向が微減、転職・独立志向が微増

○昨年度12.1ポイント増加した「定年まで」がわずかながら(39.5%→37.9%)減少した。一方「チャンスがあれば転職」が3.2ポイント(11.0%→14.2%)増加し、この傾向は、男性(11.6%→14.2%)、女性(9.9%→14.3%)ともに見られた。

企業規模別に見ると、厳しい雇用環境を受け、資本金10億円以上の企業では「定年まで」(51.4%→64.0%)が大勢を占めるものの、それ以下の規模では、「転職・独立」が、0円以上(団体含む)で11.7ポイント(16.2%→27.9%)、5千万円以上で6.5ポイント(12.0%→18.5%)、1億円以上10億円未満で5.9ポイント(13.4%→19.3%)と増加している。



## 7. 仕事をしていく上での不安 (3つ選んで下さい)

⇒多くの新入社員が現状の自分の能力と他者との関わりに不安

○非常に多くの新入社員が「仕事に対する自分に能力」(76.1%)や「社会人としての一般マナー」(47.4%)に不安を感じていることがわかった。

また対人関係については「上司との人間関係」(28.4%)、「職場の同僚との人間関係」(23.0%)の回答が見られ、これまでの学生生活で希薄だった目上の世代とのコミュニケーションに対する苦手意識が表れた。